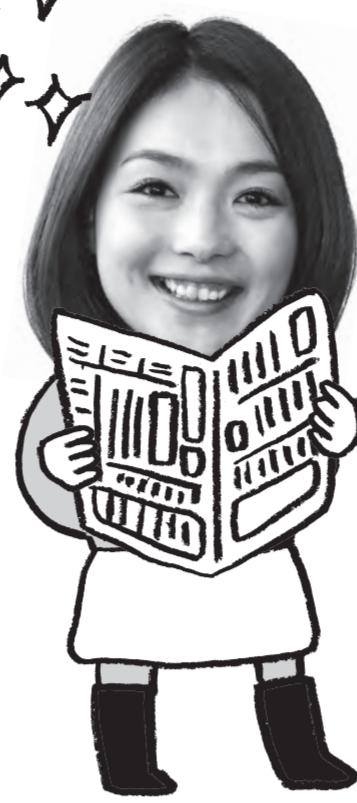


金融の力を若者たちの力に

先輩たちがチャレンジした
日経STOCKリーグ。
僕たちの番だ



働きたい会社に出会うために、
応援したい会社を探そう

株式は経済の活きた
テキストなんだ

ふと気づいた問題が、地域の問題に、
日本の問題に、世界の問題につながっていく。
自分たちで調べ、自分たちで考え、問題に立ち向かっていく力を身に付けた若者が増えたら、
未来をちょっと変えられるかもしれません。
若者たちの金融リテラシーを高める」とを目的に、
2000年よりスタートした株式学習コンテスト「日経STOCKリーグ」。
すでに8万人以上が株式を通じて、活きた経済にふれてきました。
学生は3～5人のチームで、世界・日本・地域の未来を想像して、
個性豊かな投資テーマを決め、応援したい会社を選び、ポートフォリオを構築していきます。
正解は一つだけではない。経済という多様性に富んだ問題に仲間と挑戦し、
自分の中に新しい可能性を見つけた若者たち。
今年も、好奇心と向上心にあふれ「仲間と何かを成し遂げたい」と願う、
若いチームを待っています。

宇宙飛行士になるかもしないあなたに今
社長になるかもしないあなたに今
株式のこと学到んでほしい。

申し込み
**本日
開始**

日経STOCKリーグ

【参加期間】①「自主テーマによるポートフォリオ学習」／2013年10月1日(火)～11月29日(金)

②「レポートコンテスト」の締切／2014年1月10日(金)

(※2014年3月下旬予定)

【表彰内容】最優秀賞

(全参加チームより1チーム)

チームメンバー全員を海外研修旅行に招待。

(※2014年3月下旬予定)

部門賞

(中学校・高校・大学部門より各1チーム、計3チーム)

奨励賞

(中学校・高校・大学部門より各1チーム)

審査委員
特別賞

(中学校・高校・大学部門より各1チーム)

〔中学校部門〕図書カード3万円分　〔高校・大学部門〕賞金3万円

ワカモノ
ミクスで
日本を変えよう。

主催：日本経済新聞社

特別協賛：

野村グループ



日経STOCKリーグにはすでに9回取り組んできましたが、参加した動機は、実学としての経済学を学生たちに学んでもらいたかったからです。経済学は、社会科学の女王といわれるほど精緻な理論展開が行われますが、現実の社会との関わり合いが極めて重要です。

日本の未来という 正解のない課題に、仲間と取り組む。

羽森 茂之氏 神戸大学経済学研究科教授 ◎第13回NOMURA Award受賞

活きた経済にふれ株式市場について学び、ポートフォリオを構成して、レポートを作成するのが日経STOCKリーグの大きな流れですが、その中で学生たちに、将来のあるべき日本経済像を

持つようになってきました。またレポート作成の作業を通じて協調性が高まったことに加え、先輩が後輩たちに心強いアドバイスを与えてくれるなど、学年を超えた積極的な交流と絆が生まれました。

そして名前は知らなくても世界に通用する技術を保有している企業を見つけるなど、就職活動の際にも参考になったようです。

活きた経済の学習は、学生たちにとって受験勉強とは違って正解のない課題に取り組んでいるようなものです。社会には正解のない

主催：日本経済新聞社

特別協賛：野村グループ

描いてもらえるように工夫しました。株式市場の勉強のみならず、女性の社会参加や、高齢化問題、環境問題など、10年、20年先の日本のあり方について考えてもらえるようにリードしてきました。

日経STOCKリーグへの参加を通じて、学生たちは身近な経済問題に深い関心を

問題がほとんどです。自分たちで設定した問題に対して、チームのメンバーと共に悩み議論しレポートを仕上げることの難しさを学べることは、刺激的な経験です。

日経STOCKリーグに参加しようかどうか迷っているなら、ともかくトライしてみることをお勧めします。学生たちはもちろん指導者にも、さまざまなチャンスを与えてくれると思います。

ご指導いただく
教諭(教官)向けに、
説明会を開催いたします。

東京会場 7/30^火 13:00~15:00

日本経済新聞社東京本社 7階 会議室
東京都千代田区大手町1-3-7 ※受付は1階になります。

大阪会場 8/2^金 13:00~15:00

日本経済新聞社大阪本社 8階 フォーラム会議室
大阪市中央区大手前1-1-1 ※受付は1階になります。
説明会内容

説明会では、長年にわたり日経STOCKリーグを活用した金融経済教育を実施されている東京都立西高等学校の篠田健一郎氏による講演など、学習を進める上で役立つ情報を提供いたします。

※定員になり次第〆切とさせていただきます。

※●学校名 ●参加先生名 ●登録時のID番号(SLTXXXXX、既に登録の先生のみ) ●講演いただく先生に質問があればその内容をご記入の上、右記事務局まで、電子メールでお申ください。

金融の力を
若者たち
の力に



参加期間

- ①「自主テーマによるポートフォリオ学習」／2013年10月1日(火)～11月29日(金)
- ②「レポートコンテスト」の締切／2014年1月10日(金)

表彰内容

- 最優秀賞（全参加チームより1チーム）
チームメンバー全員を海外研修旅行にご招待。（2014年3月下旬予定）
- 部門賞（中学、高校、大学部門より各1チーム、計3チーム）
[中学部門] ユニバーサル・スタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにチームメンバー全員をご招待（1泊2日）。
[高校・大学部門] 賞金20万円
- 敢闘賞（中学、高校、大学部門より数チーム）
[中学部門] 図書カード5万円分 [高校・大学部門] 賞金5万円
- 審査委員特別賞（中学、高校、大学部門より数チーム）
[中学部門] 図書カード3万円分 [高校・大学部門] 賞金3万円

第14回 中・高・大学生のための株式学習コンテスト 日経STOCKリーグ

<http://manabow.com/>

まなぼう

検索

ご応募・日経STOCKリーグの内容は、
経済について楽しく学べる
「日経STOCKリーグ」事務局

TEL: 03-3545-9823 E-mail: stockleague@info.email.ne.jp

※ご記入いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく、今回の日経STOCKリーグ以外には使用いたしません。

文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、
後援：一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会



「株式を今勉強すると、将来プラスになるよ」。立教池袋中学校2年の夏休み、両親にアドバイスされ、日経STOCKリーグにチャレンジしました。もちろん最初は、株式に関する知識はゼロ。しかし投資教育に熱心な数理研究部の内田先生の指導もあり、気がつけば9回も参加していました。

が、自然にできていました。後輩に株式について教えることで、社会貢献をはじめ株式投資の意義についてあらためて考えることができました。

後輩たちには、株式投資は連想ゲームのようなもので、投資対象の会社を調べながら、取引先の会社、業界、消費者、社会

僕の人生を変えたかもしれない、体験。

雨宮 聖矢さん

立教大学大学院 経営学研究科
中高・大の9年間、日経STOCKリーグに参加

日経STOCKリーグで最初の難関はレポートのテーマ設定。私の場合、インスピレーションを重視してきました。風呂に入っている時やテレビを見ている時、テーマがひらめくことが多かったです。

私の学校では、学年を超えて、先輩が後輩チームに株式や投資について教えるという伝統

へと、好奇心を広げていくように、アドバイスしてきました。

好奇心が広がれば、自分の将来の可能性も広がっていくはずです。

たとえば私は大学は法学部に進みましたが、日経STOCKリーグを通じて学んできた経営や投資への知識を究めたり、大学院に進み経営学を学ぶ道を選択しました。

日経STOCKリーグで体験する長期投資は、若さを生かせる投資だと思います。同時に投資による社会貢献を考えるのに最適な

主催：日本経済新聞社

特別協賛：野村グループ

方法だと思います。

自分たちで設定したテーマをもとに、チームのメンバーと共に悩み議論しレポートを仕上げることは、刺激的な体験となるはずです。

そしてその体験は、将来さまざまなチャンスを与えてくれると思います。

金融の力を
若者たち
の力に



参加期間

- ①「自主テーマによるポートフォリオ学習」／2013年10月1日(火)～11月29日(金)
- ②「レポートコンテスト」の締切／2014年1月10日(金)

表彰内容

- 最優秀賞（全参加チームより1チーム）
チームメンバー全員を海外研修旅行にご招待。（2014年3月下旬予定）
- 部門賞（中学、高校、大学部門より各1チーム、計3チーム）
 - [中学部門] ユニバーサル・スタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにチームメンバー全員をご招待（1泊2日）。
 - [高校・大学部門] 賞金20万円
- 敢闘賞（中学、高校、大学部門より数チーム）
 - [中学部門] 図書カード5万円分 [高校・大学部門] 賞金5万円
- 審査委員特別賞（中学、高校、大学部門より数チーム）
 - [中学部門] 図書カード3万円分 [高校・大学部門] 賞金3万円

説明会
開催迫る！

ご指導いただく
教諭(教官)向けに、
説明会を開催いたします。

東京会場 7/30 火 13:00～15:00

日本経済新聞社東京本社 7階 会議室
東京都千代田区大手町1-3-7 ※受付は1階になります。

大阪会場 8/2 金 13:00～15:00

日本経済新聞社大阪本社 8階 フォーラム会議室
大阪市中央区大手前1-1-1 ※受付は1階になります。

説明会
内容

説明会では、長年にわたり日経STOCKリーグを活用した金融経済教育を実施されている東京都立西高等学校の篠田健一郎氏による講演など、学習を進める上で役立つ情報を提供いたします。

※定員になり次第〆切とさせて頂きます。

※●学校名 ●参加生徒名 ●登録時のID番号(SLTXXXXX、既に登録の先生のみ) ●講演いただく先生に質問があればその内容をご記入の上、右記事務局まで、電子メールでお申込ください。

第14回 中・高・大学生のための株式学習コンテスト 日経STOCKリーグ

<http://manabow.com/>

まなぼう

検索

ご応募・日経STOCKリーグの内容は、
経済について楽しく学べる
「日経STOCKリーグ」事務局
TEL: 03-3545-9823 E-mail: stockleague@info.email.ne.jp

※ご記入いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく、今回の日経STOCKリーグ以外には使用いたしません。

文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、
後援：一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会

教育現場における日経STOCKリーグの活用事例

株式を学ぶことで経済や社会の仕組みを理解していく。さまざまな課題に気づき、それを解決できる会社の存在を知る。若者たちの金融リテラシーを高めることを目的に、2000年よりスタートした株式学習レポートコンテスト「日経STOCKリーグ」。すでに8万人以上が株式を通じて、活きた経済にふれてきました。日経STOCKリーグの教育現場における活用について様々な角度から、識者に語っていただきました。

篠田氏:金融経済教育とキャリア教育は基本的に同じものだと思っています。自分の視点と異なる立場で物事を多面的に捉え、自分で考え主体的に行動できる人間を育てるためにも金融経済教育は有効な手段です。
羽森氏:学生が活きた経済に触れる機会を積極的に導入すべきだという問題意識を

金融経済教育を通じて 「活きた経済」に触れる機会を提供

金融経済教育を超え、 キャリア教育として活用

教育の現場で日経STOCKリーグは、
どのような効果がありますか？



東京都立西高等学校
主任教諭

篠田 健一郎氏
第1回日経STOCKリーグ
より参加。複数校で日経
STOCKリーグを活用した
授業を実践

ずっと持っていました。
この意味で日経STOCKリーグは、学問と
実際の経済とをつなぐブリッジの役割を果
たしていると思います。



神戸大学
経済学研究科教授

羽森 茂之氏
過去9回参加。大学のゼミ
活動で、実際の経済を学
生に考えさせる機会として
日経STOCKリーグを活用



野村證券(株)
エクイティ・リサーチ部

黒田 大介氏

学生時代に大学のゼミ
活動で日経STOCKリーグ
に参加。現在は社内ボラン
ティアで日経STOCK
リーグ審査員を務める

篠田氏:日経STOCKリーグに参加したこと
によって、生徒一人ひとりに「新しい発見」
があること。その発見こそ、生徒が次のステージ
に進むための力になるのです。

羽森氏:株式市場を疑似体験することに
よって日本の将来像を考えるひとつの契機
になり、利益のみを目的にするのではなく、
投資の本質への理解を学生たちには養つ
てほしいと考えています。

マクロ経済を見る力と 幅広い業界への知見を養う

学生時代に日経STOCKリーグに参加され、
現在は社員ボランティアとして審査員を務めている
黒田さんにはどのような発見がありましたか？

黒田氏:学生たちが作成したレポートは、
ユニークなものがたくさんあります。また、日常
のアナリストの業務では、短期的な視点に
なりがちですので、長期的な視点に基づい
た学生たちのレポートに接すると、アナリスト
としての原点を再認識させられます。

次世代を担う
起業家やCFOの
育成プログラム
としての可能性

日経STOCKリーグで
受賞したレポートを読んで
どのようなことを感じましたか？

永沢氏:日経STOCKリーグの学生の書いた
レポートを拝見し感じたのは、次世代教育の
手段として大きな可能性があるのではないか
ということです。日本社会の将来を担う新規
成長産業の起業家、ならびに
起業家を資金調達や財務
面で支えるCFOの人材
育成に貢献していくの
ではないかと思います。



Foster Forum(良質な
金融商品を育てる会)
事務局長、金融審議会
委員

永沢 裕美子氏

◎この座談会の詳細を下記HPでご覧になれます。
<http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/dialogue/sl.html>



参加期間

- ①「自主テーマによるポートフォリオ学習」
／2013年10月1日(火)～11月29日(金)
- ②「レポートコンテスト」の締切／2014年1月10日(金)

表彰内容

- 最優秀賞(全参加チームより1チーム)
チームメンバー全員を海外研修旅行にご招待。(2014年3月下旬予定)
- 部門賞(中学、高校、大学部門より各1チーム、計3チーム)
[中学部門] ユニバーサル・スタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにチームメンバー全員をご招待(1泊2日)。
[高校・大学部門] 賞金20万円
- 敢闘賞(中学、高校、大学部門より数チーム)
[中学部門] 図書カード5万円分 [高校・大学部門] 賞金5万円
- 審査委員特別賞(中学、高校、大学部門より数チーム)
[中学部門] 図書カード3万円分 [高校・大学部門] 賞金3万円



第14回 中・高・大学生のための株式学習コンテスト 日経STOCKリーグ

<http://manabow.com/>

まなぼう

検索

ご応募・日経STOCKリーグの内容は、
経済について楽しく学べる
「日経STOCKリーグ」事務局
TEL:03-3545-9823 E-mail:stockleague@info.email.ne.jp
※ご記入いただいた個人情報は、ご本人の承諾なく、今回の日経STOCKリーグ以外には使用いたしません。

主催:日本経済新聞社

特別協賛:野村グループ

後援:文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、
一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会